

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾

(NPO 法人 再生塾)

## 第7回通常総会議案書

平成 26 年 11 月



# NPO 法人再生塾第 7 回通常総会

日時：平成 26 年 11 月 22 日（土） 12 時 20 分～13 時 00 分

場所：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

## 議事次第

- 一．開会
- 一．あいさつ
- 一．議長選出
- 一．議案
  - (1) 第 7 期・第 8 期（平成 26 年度，27 年度）役員改選
  - (2) 第 6 期（平成 25 年度）事業報告・収支決算報告
  - (3) 第 7 期（平成 26 年度）事業計画・収支予算計画
  - (4) その他
- 一．閉会

### 【資料】

議案 1．第 7 期・第 8 期（平成 26 年度，27 年度）役員改選（案）

議案 2．第 6 期（平成 25 年度）事業報告・収支決算報告（案）

議案 3．第 7 期（平成 26 年度）事業計画・収支予算計画（案）

参考資料．会員名簿



議案 1. 第 7 期・第 8 期（平成 26 年度、27 年度）役員改選（案）

現役職	新役職	氏 名	所 属	備考
理事長	理事長	正司 健一	神戸大学大学院経営学研究科	留任
副理事長	副理事長	大藤 武彦	株式会社交通システム研究所	留任
理事	理事	土井 勉	京都大学大学院工学研究科・医学研究科	留任
理事	理事	中川 大	京都大学大学院工学研究科	留任
理事	理事	村尾 俊道	京都府建設交通部	留任
理事	理事	東 徹	一般社団法人システム科学研究所	留任
監事	監事	本田 豊	兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所	留任
事務局長	東 徹	一般社団法人システム科学研究所	留任	

## 議案 2. 第 6 期（平成 25 年度）事業報告・収支決算報告（案）

### 1. 第 6 期事業報告

第 6 期：平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日

#### 1.1 概要

第 6 期（平成 25 年度）には、これまで継続してきた研修事業を着実に実施することとして、「再生塾 -持続可能なまちと交通をめざして(基礎編)-」、「地方議員のための地域公共交通政策セミナー」、そしてアドバンスドコースを開催するとともに、各地域・団体からの相談を受け付けて相談に応じるアドバイス事業、関係団体が推進する教育・研修事業などと連携した取り組みを推進した。さらに、関連する学会等への報告を積極的に行うとともに、活発に会員・賛助会員の交流活動を行った。

#### 1.2 主要事業

##### (1) 第 6 期「再生塾 -持続可能なまちと交通をめざして(基礎編)-」の開催

目的と概要	交通政策や交通技術に関する基礎的な知識の習得を目指す行政担当者、交通事業者、コンサルタント、学生などを対象として、持続可能なまちと交通を進めていくための基礎知識と考え方をレクチャーする。
日時	平成 26 年 6 月 21 日（土）、10 時～17 時
場所	ティーオージー 17 階 会議室 1
参加者	37 名（公共団体、交通事業者、コンサルタント、学生など）
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりと交通政策総論:土井 勉 特定教授(京都大学大学院工学研究科)</li> <li>・持続可能なまちと交通 -わたしの問題意識-(参加者全員)</li> <li>・公共交通の経営:正司 健一 教授(神戸大学大学院経営学研究科)</li> <li>・交通政策とコミュニケーション:松村 暢彦 准教授(大阪大学大学院工学研究科)</li> <li>・公共交通活性化・再生の実践:中川 大 教授(京都大学大学院工学研究科)</li> <li>・グループワーク:持続可能なまちと交通－課題解決に向けて－</li> <li>・まとめ・閉会</li> </ul>
共催	京都大学大学院工学研究科 低炭素都市圏政策ユニット 京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット
後援	国土交通省近畿運輸局、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本都市計画学会関西支部

##### (2) 第 5 期地方議員対象「地域公共交通政策セミナー」

目的と概要	人口減少・少子高齢化の進行や自動車社会の進展に伴い、多くの地方自治体においては中心市街地の活力低下や地域交通の衰退が深刻化している。地域が抱えるこうした問題に対応するため、主に地方議員の方を対象として、交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等をレクチャーする。
日時	平成 26 年 6 月 5 日(木)、10 時～17 時
場所	エル・おおさか（大阪府立労働センター）5 階研修室 1
参加者	15 名（地方自治体の議員）

プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会あいさつ(神戸大学大学院経営学研究科教授 正司健一)</li> <li>・公共交通政策の財政と負担(神戸大学大学院経営学研究科教授 正司健一)</li> <li>・「私の問題意識」(参加者全員)</li> <li>・公共交通政策の実践(京都大学大学院工学研究科教授 中川 大)</li> <li>・世界の都市交通政策フロントランナー(京都大学大学院工学研究科准教授 松中 亮治)</li> <li>・自治体における公共交通政策総論-(京都大学大学院工学研究科特定教授 土井 勉)</li> <li>・QandA、「持続可能なまちと地域公共交通-課題解決に向けて-」(上記講師)</li> </ul>
共催	京都大学大学院工学研究科低炭素都市圏政策ユニット 京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット
後援	国土交通省近畿運輸局

### (3) 技術セミナーの開催

日時	会場	概要
平成 26 年 8 月 30 日(土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ	技術セミナー

### (4) 「再生塾 -持続可能なまちと交通をめざして」アドバンスドコース第 6 期の開催

目的と概要	交通政策に携わる行政団体、コンサルタント、交通事業者、学生の皆様などを対象として、総合的な交通政策や地域の交通問題を主導して計画策定や事業を推進するために有用な理論的・実践的情報を提供し、参加者相互の意見交換を通してビジョンと「夢」を共有する。アドバンスドコースは、「基礎コース」程度の基本的な考え方や基礎的な交通技術を習得した方、もしくは数年程度の実務経験をお持ちの方を対象として、実際のフィールドでのケース・スタディを通して、経験豊富な講師と意見交換をしながら実践的な研修を行う。
期間	平成 25 年 8 月～12 月
参加者	20 名（公共団体、交通事業者、コンサルタント、学生など）
研修フィールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にしきた商店街（西宮市）</li> <li>・水間鉄道（貝塚市）</li> </ul>
共催	京都大学大学院工学研究科 低炭素都市圏政策ユニット 京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット
後援	国土交通省近畿運輸局、公益社団法人土木学会、公益社団法人日本都市計画学会関西支部
備考	・第 49 回土木計画学研究発表会(春大会)への参加：平成 26 年 6 月 7 日(土)~8 日(日)、東北工業大学

	日時	会場	概要
第 1 回	平成 25 年 8 月 31 日(土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ	開講式, オリエンテーション, 研修計画, 各コースの政策課題の共有等
第 2 回	平成 25 年 9 月 (各グループ別)	現地	現地視察、調査
第 3 回	平成 25 年 10 月 12 日 (土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ	現況把握, 現状認識と課題共有

第4回	平成25年11月16日 (土), 10:00~17:00	新大阪丸ビル	中間報告, 課題と政策の方向性に係る意見交換等
第6回	平成25年12月14日 (土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリ ジェントラボラトリ	報告会, 提言に向けた取り組みに係る意見交換等, 閉講式

注.この他、メーリングリストによるディスカッションや、参加者が連携して、現地調査、ファシリテータも参加した小ワークショップ等を実施。

#### (5) 再生塾実践編

ポスト・アドバンスドコースとしての新たな取り組みとして、フィールドからの要請に応じて、アドバンスドコース塾生希望者を対象とした更なる人材育成とフィールドの取り組み支援を実践的に行う「(仮)再生塾実践編」を、実験的に開始した。

本年度は、「にしきた商店街」からの要請に基づき、「にしきた商店街とともに取り組むまちづくり」を主題とした取り組みを開始した。

#### (6) 他団体主催行事への後援

「京都大学大学院低炭素都市圏政策ユニットフォーラム」後援  
平成26年1月24日(金)、15時~17時、  
ANAクラウンプラザホテル

#### (7) 支援・アドバイス事業

概要	地域における交通政策の推進や公共交通活性化等の取り組みを支援するため、地方自治体・団体・交通事業者からの要請に応じて、情報提供、講師派遣など支援やアドバイスをを行う。
講師派遣	・西鉄労組政策セミナー 平成26年4月2日(水)、15時~17時 電気ビル本館 派遣講師：三星昭宏 近畿大学名誉教授

#### (8) 情報発信・提供事業

当法人の活動を広く知っていただくために、「持続可能なまちと交通をめざす再生塾」ポータルサイト等を運営して情報発信、提供を行うとともに、新たにリーフレット及び行事チラシを制作して、近畿地区全市町村交通政策担当課及び関係者に配布した。

また、関連する学会等に論文を投稿して報告を行った。

##### ① ホームページの運用等情報発信

- ・ ホームページ URL : <http://www.saiseijuku.net/>
- ・ 関連リンク(再生塾ブログ) :  
<http://www.hnpo.comsapo.net/machikotsu/>
- ・ 国土交通省総合政策局 : 「総合交通メールマガジン」への投稿、配信

##### ② セミナー・学会等への投稿・発表

1. 第49回土木計画学研究発表会(春大会)への投稿と口頭発表
  - ・ 実施期日 : 平成25年6月7日(土)・6月8日(日)

- ・ 会場：東北工業大学
- 2.第9回日本モビリティ・マネジメント会議での発表
  - ・実施期日：平成26年7月25日（金）、26日（土）
  - ・会場：北海道帯広市 とかちプラザ（レインボーホール他）
- 3.土木学会誌への記事掲載
  - ・「NPO 法人再生塾における交通まちづくりを担う人材育成の実践」依頼原稿、土木学会誌4月号
- 4.土木学会土木計画学研究委員会「交通まちづくりの実践」小委員会シンポジウム
  - ・「人材育成の取り組み ～関西から～」発表、平成25年11月2日（金）、神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

#### (9) 会員交流事業

アドバンスドコースの報告会では、会員及び賛助会員にオブザーバ参加と懇親会への参加を案内し、多くの参加をみた。

また、会員及び賛助会員が自主的に進める「部活動」についても、活発な活動を行った。

#### (10) その他

##### ■第5回通常総会

- ・ 日時：平成25年11月10日（土）、12時45分～13時30分
- ・ 場所：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ
- ・ 出席：正会員13名中12名出席（うち委任状出席4名）
- ・ 内容：平成24年度（第5期）事業報告・収支決算報告、平成25年度（第6期）事業計画・収支予算計画

##### ①第1回理事会

- ・ 日時：平成26年1月11日（土）、14時～18時
- ・ 場所：NPO法人再生塾事務局
- ・ 出席：6名
- ・ 内容：第5期、第6期の活動内容及び行事予定の検討

##### ②第2回理事会

- ・ 日時：平成26年4月21日（月）、19時00分～21時00分
- ・ 場所：NPO法人再生塾事務局
- ・ 出席：6名
- ・ 内容：セミナー、アドバンスドコース等企画検討

##### ③第3回理事会

- ・ 日時：平成26年11月10日（月）、19時～21時
- ・ 場所：NPO法人再生塾事務局
- ・ 出席：5名
- ・ 内容：第6期事業報告・決算報告(案)、第7期事業計画・予算(案)検討その他

## 2. 第6期（平成25年度）収支決算書

### ■活動計算書

第6期(平成25年度)特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾

平成25年9月1日から平成26年8月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引額	備考
<b>I. 経常収益</b>				
1.受取会費				
正会員入会金	50,000	0	-50,000	新入会:0名
賛助会員入会金	30,000	20,000	-10,000	新入会:2名分
正会員受取年会費	170,000	150,000	-20,000	正会員13名(未収2名)
賛助会員受取年会費	175,000	175,000	0	賛助会員35名
2.事業収入				
セミナー事業(基礎編)	150,000	235,000	85,000	
セミナー事業(地方議員対象)	225,000	220,000	-5,000	
研修会事業(アドバンスコース)	300,000	400,000	100,000	
アドバイス事業	90,000	61,020	-28,980	講師派遣:1件
交流事業	0	0	0	
3.その他収入				
受取利息	0	190	190	
*経常収益計	1,190,000	1,261,210	71,210	
<b>II. 経常費用</b>				
1.事業費				
(1)人件費			0	
(2)その他経費			0	
セミナー費用	240,000	450,185	210,185	会場費3回、講師謝金等
研修会費(アドバンスコース)	300,000	953,737	653,737	講師謝金、リーフ・パンフ印刷費、会場費、懇親会費補助等
通信費	5,000	36,519	31,519	郵送費等
交流事業	100,000	0	-100,000	
交通費	100,000	122,930	22,930	
諸謝金	50,000	20,000	-30,000	講師謝金
消耗品費	30,000	28,272	-1,728	
支払手数料				
雑費	30,000	0	-30,000	
2.管理費				
(1)人件費	100,000	100,000	0	事務局アルバイト
(2)その他経費				
会議費	5,000	10,080	5,080	
旅費交通費	10,000	0	-10,000	
通信費	80,000	66,744	-13,256	サーバレンタル費等
消耗品費	30,000	0	-30,000	
租税公課	0	0	0	
支払手数料	80,000	58,836	-21,164	
雑費	10,000	0	-10,000	
予備費	20,000	0	-20,000	
*支出合計	1,190,000	1,847,303	657,303	
*当期収支差額	0	-586,093	50,029	
*前期繰越収支差額	1,344,576	1,344,576	0	
*次期繰越収支差額	1,344,576	758,483	-586,093	

## ■財産目録

平成25年度 財産目録

平成26年8月31日現在

特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾

平成26年8月31日現在

(単位:円)

資産・負債の内訳	当年度	前年度	増減
<b>I. 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金	226,054	202,291	23,763
普通預金(三井住友銀行新大阪支店)	1,026,214	1,152,992	-126,778
	0	0	0
流動資産合計	1,252,268	1,355,283	-103,015
資産合計	1,252,268	1,355,283	-103,015
<b>II. 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金 NTTスマートコネ外(株)(サーバー代:8月分)	4,320	4,200	120
(有)リンク・コミュニティデザイン研究所(リーフ・パンフ制作)	436,000		
本田 豊(セミナー交通費)	3,440		
預り金 源泉所得税	50,025	41,397	8,628
流動負債合計	493,785	45,597	448,188
負債合計	493,785	45,597	448,188
<b>III. 正味財産の部</b>			
一般正味財産	758,483	1,344,576	-586,093
正味財産合計	758,483	1,344,576	-586,093
負債及び正味財産合計	1,252,268	1,390,173	-137,905

■ 貸借対照表

平成25年度 貸借対照表

平成26年8月31日現在

特定非営利活動法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾

平成26年8月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	226,054		
普通預金	1,026,214		
流動資産合計		1,252,268	
資産合計			1,252,268
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金(管理費人件費、NTTスマート8月分)	443,760		
預り金(源泉所得税)	50,025		
流動負債合計		493,785	
負債合計			493,785
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産			1,344,576
当期正味財産増加額			-586,093
正味財産合計			758,483
負債及び正味財産合計			1,252,268

## ■ 正味財産増減計算書(1/2)

(自) 平成25年9月1日 (至) 平成26年8月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	20,000	60,000	-40,000
正会員受取入会金	0	30,000	-30,000
賛助会員受取入会金	20,000	30,000	-10,000
② 受取会費	325,000	300,000	25,000
正会員受取会費	150,000	140,000	10,000
賛助会員受取会費	175,000	160,000	15,000
③ 事業収益	916,020	712,000	204,020
セミナー収入	455,000	307,000	148,000
研修会収入	400,000	340,000	60,000
講師派遣収入	61,020	65,000	-3,980
交流事業収益			0
④ 雑収益	190	186	4
受取利息	190	186	4
雑収益			0
経常収益計	1,261,210	1,072,186	189,024
(2) 経常費用			
① 事業費			
セミナー費	450,185	285,934	164,251
研修会費	953,737	324,309	629,428
通信費	36,519	3,290	33,229
交流事業			0
支払手数料			0
消耗品費	28,272	26,634	1,638
旅費交通費	122,930	90,320	32,610
諸謝金	20,000	33,500	-13,500
雑費			0
事業費計	1,611,643	763,987	847,656
② 管理費			
会議費	10,080	4,065	6,015
人件費	100,000	100,000	0
旅費交通費	0	1,450	-1,450
通信費	66,744	75,560	-8,816
支払手数料	58,836	60,585	-1,749
消耗品費	0	630	-630
租税公課	0	10,080	-10,080
雑費	0	5,800	-5,800
管理費計	235,660	258,170	-22,510
経常費用計	1,847,303	1,022,157	825,146
当期経常増減額	-586,093	50,029	-636,122

## ■ 正味財産増減計算書(2/2)

(自)平成25年9月1日 (至)平成26年8月31日

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-586,093	50,029	-636,122
一般正味財産期首残高	1,344,576	1,294,547	50,029
一般正味財産期末残高	758,483	1,344,576	-586,093
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	758,483	1,344,576	-586,093

## 監査報告書

平成 26 年 11 月 22 日

特定非営利活動法人 持続可能なまちと交通をめざす再生塾  
理事長 正司 健一 殿

特定非営利活動法人  
持続可能なまちと交通をめざす再生塾

監事 本田 豊





平成 25 年 9 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日（第 6 期）の会計及び事業の監査結果について、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法の概要

監事は、理事会その他の行事などに出席するほか、理事などから事業活動の報告を聴取し、業務及び財産の状況と業務執行の妥当性を調査、検討しました。

また、会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検証しました。

### 2. 監査意見

- (1) 活動計算書、貸借対照表、財産目録、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は、事実であることを認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為、または法令・定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

## 議案 3. 第 7 期（平成 26 年度）事業計画・収支予算計画

### 1. 第 7 期事業計画

（第 7 期：平成 26 年 9 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日）

#### 1.1 概要

平成 26 年度は、継続的に実施する「再生塾 -持続可能なまちと交通をめざして-基礎編セミナー」、地方議員対象セミナー、実践的研修を行うアドバンスドコース、そして各地域・団体からの相談を受け付けて相談に応じるアドバイス事業、関係団体が推進する教育・研修事業などと連携した取り組みをすすめる。さらに、より広範囲に情報発信、提供を行うために、ポータルサイトを充実するとともに、関連する学会等への報告を積極的に行う。さらに、平成 24 年 8 月に締結した韓国交通研究院との交流協定に基づき、研究交流事業を積極的に推進する。なお、会員・賛助会員の獲得及び交流活動を活性化する。

#### 1.2 主要事業

##### (1) 第 7 期「再生塾 -持続可能なまちと交通をめざして(基礎編)-」の開催

目的と概要	交通政策や交通技術に関する基礎的な知識の習得を目指す行政担当者、交通事業者、コンサルタント、学生などを対象として、持続可能なまちと交通を進めていくための基礎知識と考え方をレクチャーする。
日時	平成 27 年 5 月（ワンデーセミナー）
場所	大阪市内
参加対象	約 50 名（公共団体、交通事業者、コンサルタント、学生など）
プログラム	これまでに開催したセミナー(基礎編)をベースとする。

##### (2) 地方議員対象「地域交通政策セミナー」

目的と概要	人口減少・少子高齢化の進行や自動車社会の進展に伴い、多くの地方自治体においては中心市街地の活力低下や地域交通の衰退が深刻化している。地域が抱えるこうした問題に対応するため、主に地方議員の方を対象として、交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等をレクチャーする。
開催時期	平成 27 年 6 月
会場	研修会：大阪市内
参加対象	約 20 名（近畿地区地方自治体議員）
プログラム	第 6 期で実施した地方議員対象セミナーをベースとする。

##### (3) 交通技術セミナー

日時	会場	概要
平成 27 年 8 月 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ	ワンデー技術セミナー

(4) 第7期「再生塾-持続可能なまちと交通をめざして」アドバンスドコース

目的と概要	交通政策や交通技術に関する知識と経験がある程度蓄積されている方を対象として、より実践的にフィールドでのケース・スタディを通じた実践的研修を行う。
開催時期	平成26年8月～平成26年12月（月1回の土曜日を中心として活動）
会場	研修会：大阪市内、フィールド現地調査
参加対象	約20名（NPO法人再生塾賛助会員、地方自治体・関係団体の職員、交通事業者、コンサルタント、学生）
フィールド	・京都京阪バス、大阪市生野区

	日時	会場	概要
第1回	平成26年8月2日 (土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリ ジェントラボラトリ	開講式, オリエンテーション, 研修計 画, 各コースの政策課題の共有等
第2回	平成26年8月30日 (土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリ ジェントラボラトリ	技術セミナー
第3回	平成26年9月 (各グループ別)	現地	現地視察、調査
第4回	平成26年10月13日 (祝), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリ ジェントラボラトリ	現況把握, 現状認識と課題共有
第5回	平成26年11月22日 (土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリ ジェントラボラトリ	中間報告, 課題と政策の方向性に係 る意見交換等
第6回	平成26年12月20日 (土), 10:00~17:00	神戸大学梅田インテリ ジェントラボラトリ	報告会, 提言に向けた取り組みに係る 意見交換等, 閉講式

(5) 再生塾実践編

ポスト・アドバンスドコースとしての新たな取り組みとして、フィールドからの要請に応じて、アドバンスドコース塾生希望者を対象とした更なる人材育成とフィールドの取組み支援を実践的に行う「(仮)再生塾実践編」を、実験的に開始した。

本年度は、「にしきた商店街」からの要請に基づき、「にしきた商店街とともに取り組むまちづくり」を主題とした取り組みを進める。

(6) アドバイス事業

概要	地方自治体・団体・交通事業者からの要請に応じて、公的機関、会員及び連携する機関・諸団体の有する情報を提供すると共に、適切なアドバイスをを行う。
アドバイスの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する情報提供：郵便、FAX、E-Mailなどでの問い合わせ受付</li> <li>・相談受付：アドバイザーによる当法人事務所への訪問相談受付（事前予約と日程調整が必要）</li> <li>・アドバイザーの派遣：打合せ、会議、研修、セミナー、講演会などへのアドバイザーの派遣（事前予約と日程調整が必要）</li> </ul>
事業期間	通年
アドバイザー	当法人が推奨する交通政策の専門家

#### (7) 関係機関の教育・研修事業と連携した取り組み

関係機関が取り組んでいる持続可能なまちと交通をめざす教育・研修事業について、可能な範囲で連携した取り組みを進める。

予定する連携事業は次のとおりとする。

1. 国土交通省・地方自治体等が推進する研修事業への支援
2. 京都大学工学研究科交通政策研究ユニットとの連携
3. 行政団体などが計画する研修会への「地域交通政策ワンデー研修プログラム」の提供
4. 研修プログラムのパッケージ化と推進
5. 関連他学会のセミナー等への支援

#### (8) 情報発信・提供事業

当法人の活動を広く知っていただくために開設したホームページについては、活動の実績やセミナー・研修会開催などの情報提供など、内容を充実する。

また、事業の成果などについて、積極的に関連する学会などに投稿し、取り組みの広報・普及に努める。

広く塾への参加を推進するために、広報チラシの配信、その他の広報活動を進める。

#### (9) 交流事業

正会員、賛助会員、塾生、そしてセミナー参加者等への塾行事等の情報を提供して、参加を促す。

また、交流協定を締結した韓国交通研究院との研究交流行事として、交流セミナーを開催する。

#### (10) その他

調査分析技術等に関する新たなセミナーを検討する。

法人の趣旨に賛同して活動していただく正会員、及び賛同して支援していただく賛助会員の入会を推進する。

## 2. 平成26年度（第7期）収支予算書

### ■収支予算書

(自)平成26年9月1日 (至)平成27年8月31日

(単位:円)

科目	第7期予算額	前期予算額	増減	備考
<b>I. 収入の部</b>				
1. 入会金・会費収入				
正会員入会金	50,000	50,000	0	2名分(@50,000円)うち1名特例
賛助会員入会金	50,000	30,000	20,000	5名分(@10,000円)
正会員年会費	150,000	170,000	-20,000	15名分(@10,000円)
賛助会員年会費	220,000	175,000	45,000	44名分(@5,000円)
2. 事業収入				
セミナー(基礎編)	120,000	150,000	-30,000	50名分(@3,000円),うち賛助会員10名
セミナー(地方議員対象)	290,000	225,000	65,000	20名分(@15,000円),うち賛助会員2名
研修会(アドバンスドコース)	295,000	300,000	-5,000	20名分(@20,000円),うち賛助会員7名
アドバイス事業収入	90,000	90,000	0	3件(@30,000円)
3. 雑収入				
受取利息		0	0	
<b>*収入合計</b>	<b>1,265,000</b>	<b>1,190,000</b>	<b>75,000</b>	
<b>II. 支出の部</b>				
1. 事業費支出				
セミナー(基礎編, 議員対象)	330,000	240,000	90,000	会場費2回、講師謝金4名)等
研修会(アドバンスドコース)	300,000	300,000	0	講師謝金等
通信費	30,000	5,000	25,000	通信費
交流事業	30,000	100,000	-70,000	セミナー派遣費、会場費他
交通費	120,000	100,000	20,000	講師交通費等
広報費	50,000	0	50,000	セミナー等広報チラシ
諸謝金	45,000	50,000	-5,000	アドバイス事業等講師謝金
消耗品費	30,000	30,000	0	
雑費	10,000	30,000	-20,000	
<b>*事業費支出計</b>	<b>945,000</b>	<b>855,000</b>	<b>90,000</b>	
2. 管理費支出				
人件費	100,000	100,000	0	事務作業補助金
会議費	0	5,000	-5,000	
旅費交通費	0	10,000	-10,000	
通信費	70,000	80,000	-10,000	サーバレンタル費他
消耗品費	20,000	30,000	-10,000	
支払手数料	60,000	80,000	-20,000	
雑費	10,000	10,000	0	
<b>*管理費支出計</b>	<b>260,000</b>	<b>315,000</b>	<b>-55,000</b>	
3. 予備費	20,000	20,000	0	
<b>***. 支出合計</b>	<b>1,225,000</b>	<b>1,190,000</b>	<b>35,000</b>	
<b>*当期収支差額</b>	<b>40,000</b>	<b>0</b>	<b>40,000</b>	
<b>*前期繰越金</b>	<b>758,483</b>			
<b>*次期繰越金</b>	<b>798,483</b>			

参考資料 会員名簿

平成 26 年 9 月 1 日現在

正会員：15名

sq	氏名	所属
1	後藤 正明	(株)シティプランニング
2	西田 純二	(株)社会システム総合研究所
3	橋本 善之	元京田辺市役所建設部
4	土井 勉	京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット
5	中川 大	京都大学大学院工学研究科
6	正司 健一	神戸大学大学院経営学研究科
7	森栗 茂一	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター
8	村尾 俊道	京都府建設交通部
9	本田 豊	兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所
10	東 徹	一般社団法人システム科学研究所
11	塩土 圭介	株式会社日本海コンサルタント
12	大藤 武彦	(株)交通システム研究所
13	藤井 聡	京都大学大学院工学研究科
14	白水 靖郎	中央復建コンサルタンツ株式会社
15	塩見 光男	総合調査設計株式会社

(敬称略, 会員登録順)

賛助会員：39名